
令和7年度予算第二特別委員会質問要旨

○ 局別審査

令和7年3月5日

質問者（質問順）

- 1 くしだ 久子 委員（維新会）
- 2 福地 茂 委員（自民党）
- 3 安西 英俊 委員（公明党）
- 4 かざま あさみ 委員（立憲党）

デジタル統括本部

局 別 審 査

1 くしだ 久 子 委員（維新会）

1 リーディングプロジェクトの拡大について

（１）リーディングプロジェクトの取組及び成果について伺いたい。

（２）本市のDXを更に進めるため、より広い分野で重点的な取組を推進すべきと考えるがどうか。

（意見）より多くの分野でDXを推進することは市民の皆様への利便性向上にも直結していくものとする。

2 生成AIの利活用について

（１）生成AIの活用状況について伺いたい。

（２）事務事業に特化した利用環境を整備する狙いについて伺いたい。

2 福 地 茂 委員（自民党）

1 手続オンライン化の更なる拡充・利用拡大について

（１）ライフイベント関連手続のオンライン化を進める狙いについて伺いたい。

（２）直近の上位100手続のオンライン利用状況について伺いたい。

（３）手続オンライン化の更なる拡充・利用拡大に向けた意気込みについて伺いたい。

（要望）市民の皆様により多くの時間をお返しできるように取り組んでいただきたい。

3 安西英俊 委員（公明党）

1 区役所庁舎の通信環境について

- (1) 通信環境の整備に係る現状認識について伺いたい。
- (2) 通信環境の改善におけるデジタル統括本部の取組姿勢について伺いたい。
- (要望) 市としてデジタルサービスの提供を進めていくのであれば、区役所に限らず市民利用施設の通信環境の向上を、関係区局が連携して進めていただきたい。

2 DX支援の充実・強化について

- (1) 区局のデジタル化の取組に対するデジタル・デザイン室の支援状況について伺いたい。
- (2) デジタル統括本部の職員に対してスキルを向上させ、存在感を高めていくべきと考えるがどうか。
- (3) これまでデジタル統括本部で蓄積したナレッジやノウハウを本市の政策立案にも生かしていくべきと考えるがどうか。
- (意見) これまで以上にデジタル統括本部が頼られる存在になり、横浜のDXを推進するだけでなく、政策立案においても存在感を発揮していただくことを期待する。

4 かざま あさみ 委員（立憲党）

1 デジタル技術を活用した業務の効率化について

（１）生成ＡＩ活用の今後の展望について伺いたい。

（要望）組織だけでなく利用する職員一人ひとりのリテラシー向上も重要なので職員の育成も推進していただきたい。

（２）スマートＹＣＡＮの令和７年度の検討内容について伺いたい。

（３）ＹＣＡＮのスマート化で目指す姿について伺いたい。

（４）デジタル技術の動向や社会要請の変化を業務環境に反映・改善させていくべきと考えるがどうか。